

平成26年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
① 性別	
② 年齢	
③ 居住年数	
④ 転入歴	
⑤ 居住地	
(2) 基本方針別にみる満足度評価	5
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価	10
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度	15
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動	17
① 住環境評価	
② 定住意向	
③ 日常の行動	
(6) 草津市のイメージ	22
① 都市イメージ	
② 地域資源	

1. 調査概要

【調査目的】

平成22年度から平成32年度を計画期間とする第5次草津市総合計画の確実な進捗管理を行っていくため、計画期間中の各年度末での市民の意向を把握することを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の18歳以上の者から、年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：平成27年2月1日（日）

【調査方法】

調査は無記名とし、平成27年2月24日（火）から3月11日（水）を調査期間として、郵送により実施した。

【回収状況】

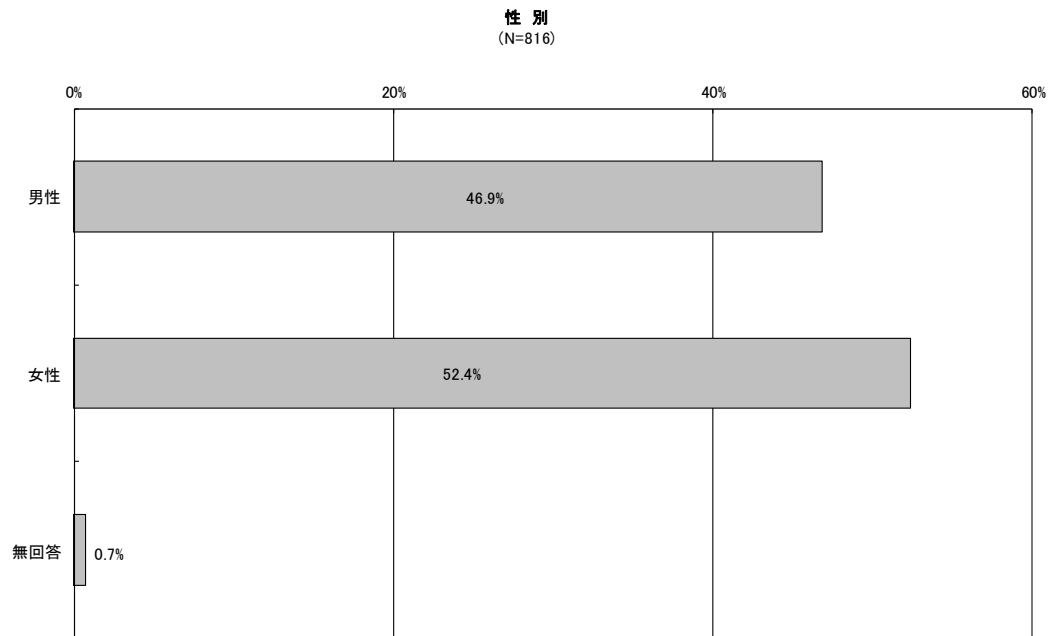
有効回答数 816 件、有効回答率 27.2%を得た。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

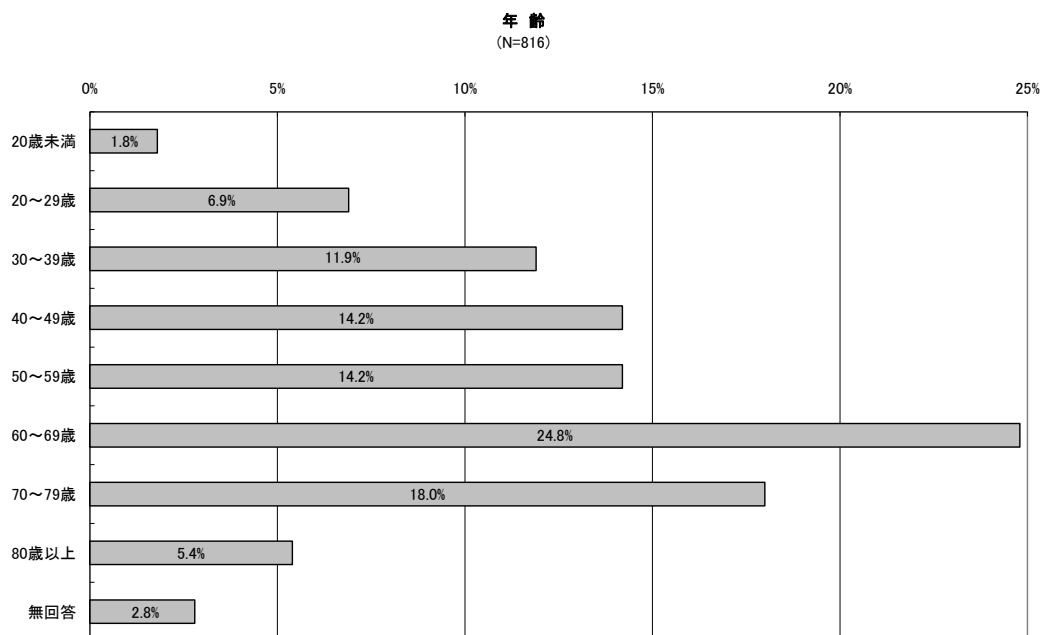
① 性別

「男性」が46.9%、「女性」が52.4%となっている。



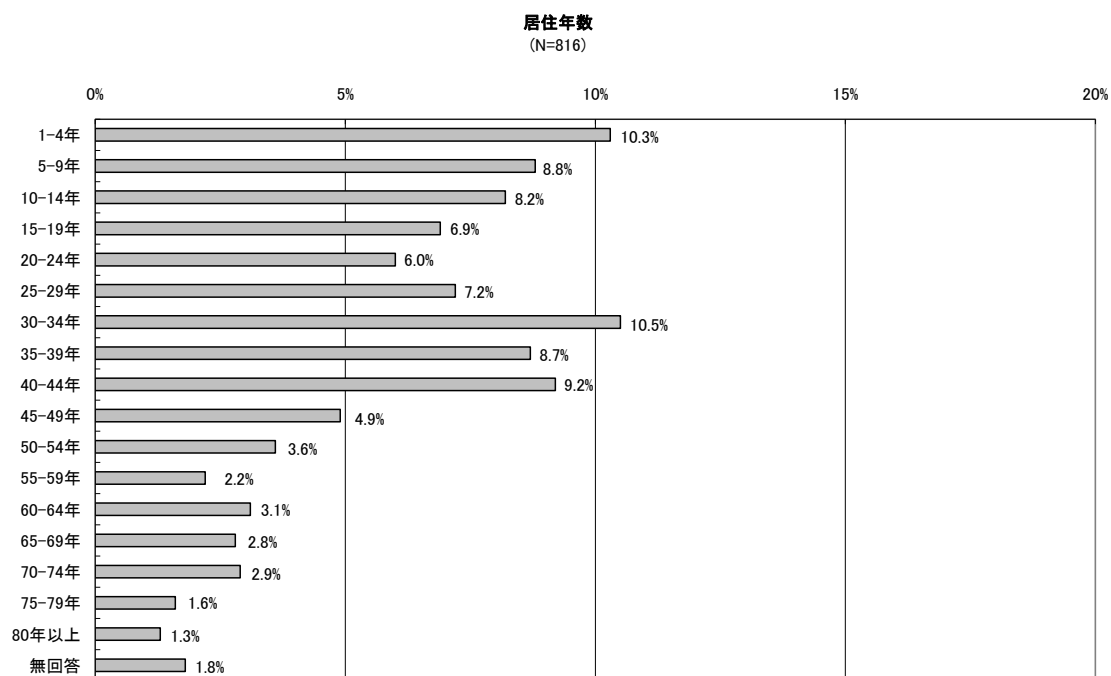
② 年齢

「60-69歳」が最も多く24.8%、次いで「70-79歳」が18.0%、「40-49歳」と「50-59歳」が14.2%となっている。



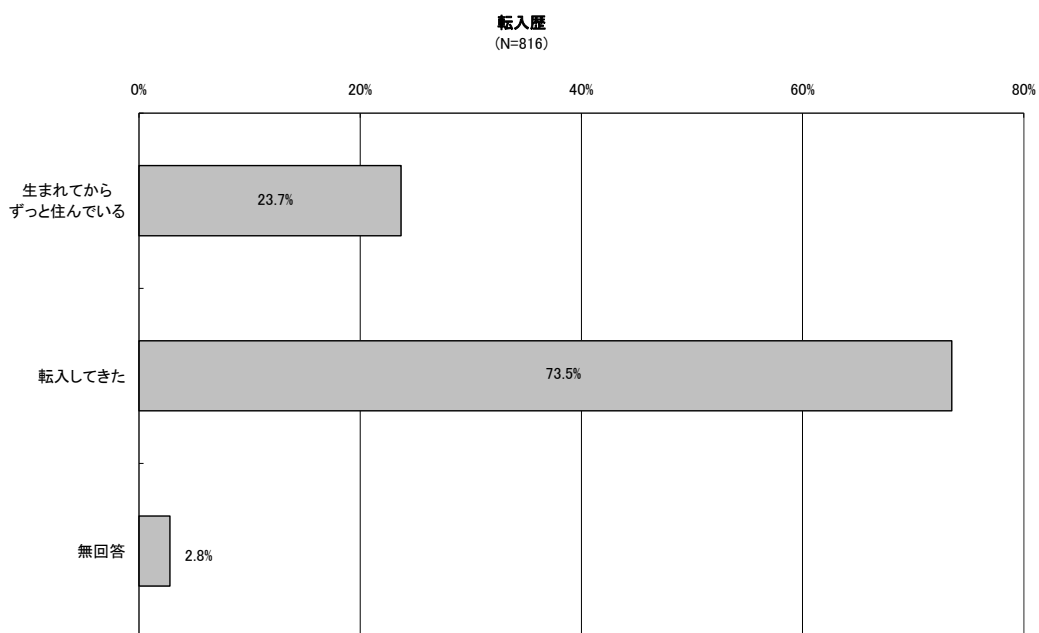
③ 居住年数

「30-34年」が最も多く10.5%、次いで「1-4年」が10.3%、「40-44年」が9.2%となっている。



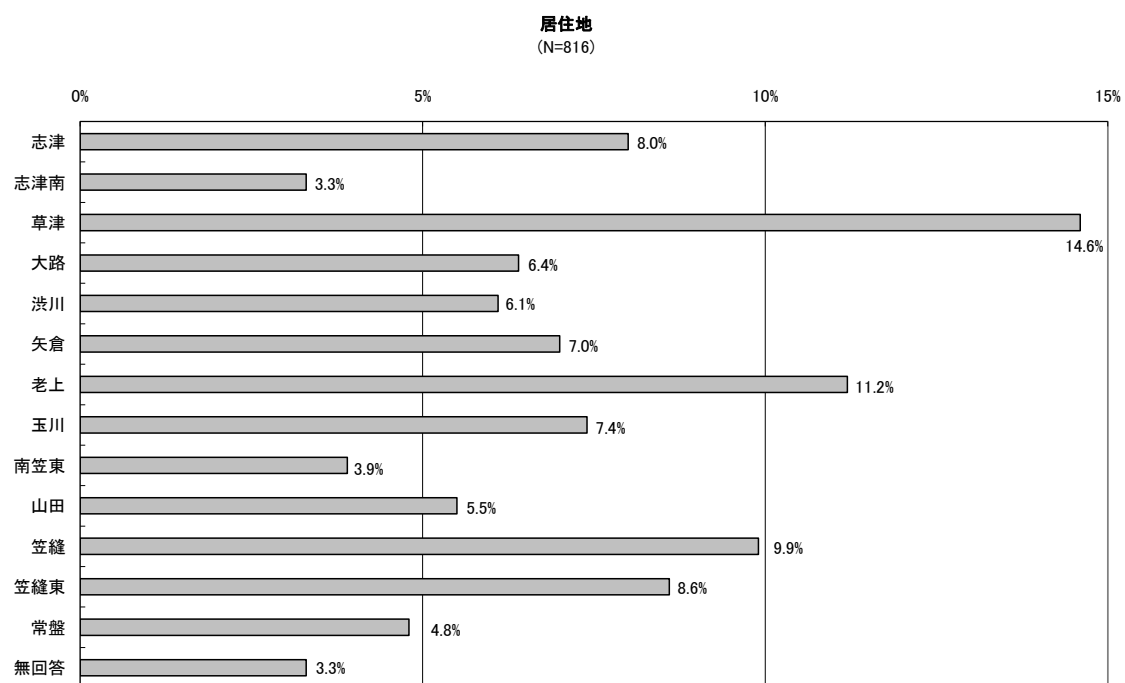
④ 転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が23.7%、「転入してきた」が73.5%となっている。



⑤ 居住地

「草津」が最も多く 14.6%、次いで「老上」が 11.2%、「笠縫」が 9.9%、「笠縫東」が 8.6% などとなっている。



(2) 基本方針別にみる満足度評価

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

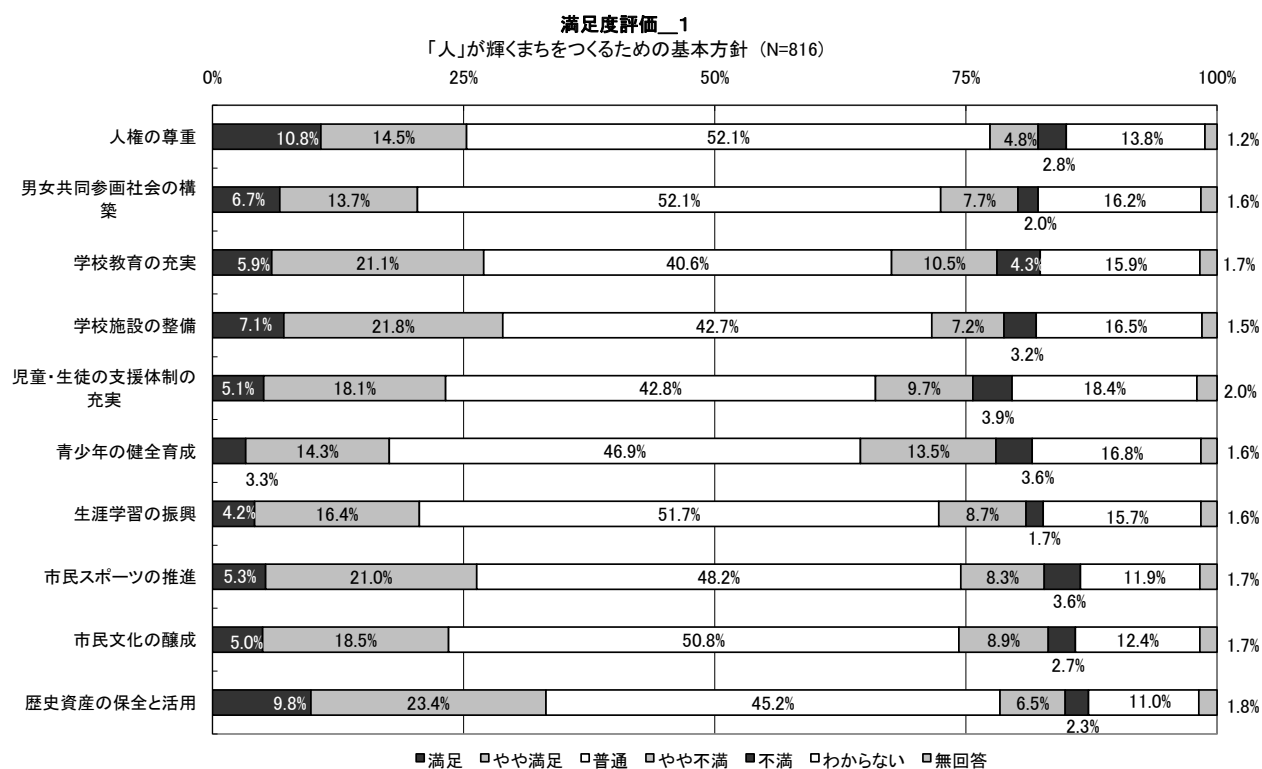
「満足」が最も多いのは、「人権の尊重」で 10.8%、次いで「歴史資産の保全と活用」が 9.8%となっている。

「やや満足」が最も多いのは、「歴史資産の保全と活用」で 23.4%、次いで「学校施設の整備」が 21.8%となっている。

「普通」が最も多いのは、「人権の尊重」と「男女共同参画社会の構築」で 52.1%、次いで「生涯学習の振興」が 51.7%となっている。

「やや不満」が最も多いのは、「青少年の健全育成」で 13.5%となっている。

「わからない」が最も多いのは、「児童・生徒の支援体制の充実」で 18.4%、次いで「青少年の健全育成」が 16.8%となっている。



②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「満足」が最も多いのは、「母子保健等の充実」で9.2%、次いで「医療保険制度の適正運用」が7.6%となっている。

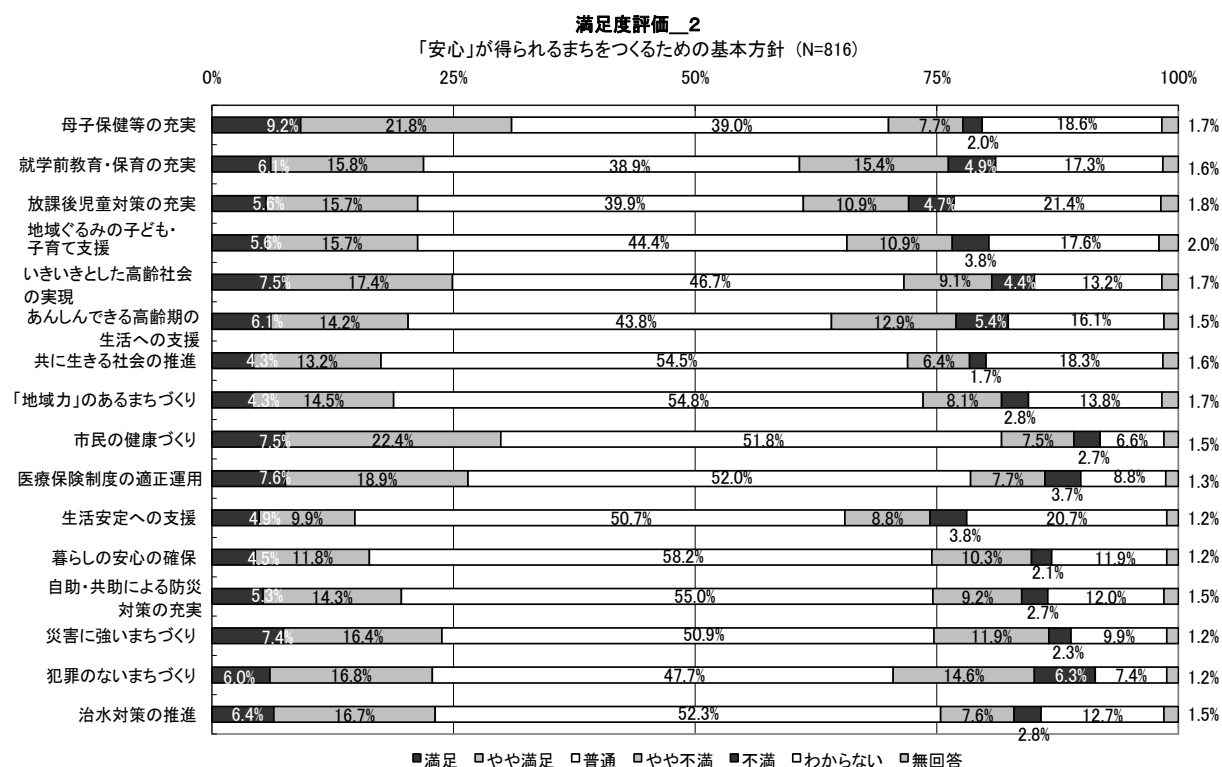
「やや満足」が最も多いのは、「市民の健康づくり」で22.4%、次いで「母子保健等の充実」で21.8%となっている。

「普通」が最も多いのは、「暮らしの安心の確保」で58.2%、次いで「自助・共助による防災対策の充実」で55.0%となっている。

「やや不満」が最も多いのは、「就学前教育・保育の充実」で15.4%、次いで「犯罪のないまちづくり」で14.6%となっている。

「不満」が最も多いのは、「犯罪のないまちづくり」で6.3%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が5.4%となっている。

「わからない」が最も多いのは、「放課後児童対策の充実」で21.4%、次いで「生活安定への支援」が20.7%となっている。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「満足」で最も多いのは「水の安定供給」で 17.2%、次いで「下水道の安定基盤づくり」で 12.0%となっている。

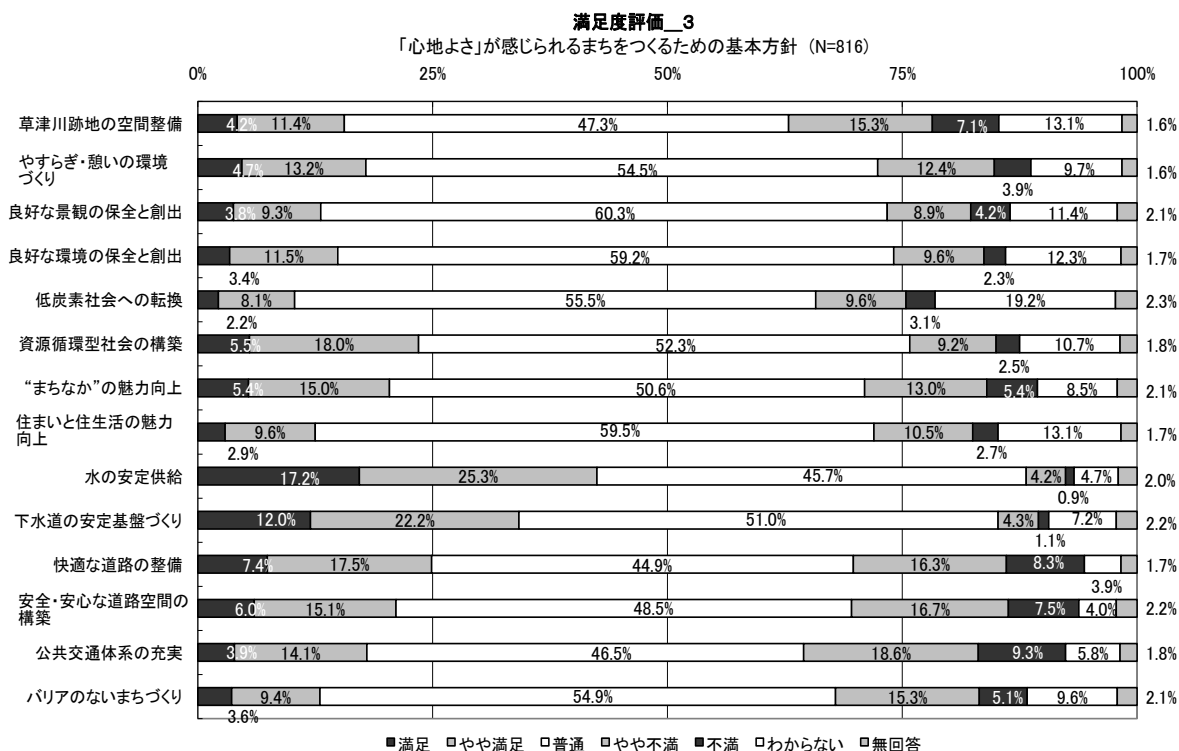
「やや満足」で最も多いのは「水の安定供給」で 25.3%、次いで「下水道の安定基盤づくり」で 22.2%となっている。

「普通」で最も多いのは「良好な環境の保全と創出」で 60.3%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」で 59.5%となっている。

「やや不満」で最も多いのは「公共交通体系の充実」で 18.6%、次いで「安全・安心な道路空間の構築」が 16.7%となっている。

「不満」で最も多いのは「公共交通体系の充実」で 9.3%、次いで「快適な道路の整備」で 8.3%となっている。

「わからない」で最も多いのは「低炭素社会への転換」で 19.2%、次いで「草津川跡地の空間整備」と「住まいと住生活の魅力向上」で 13.1%となっている。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「満足」が最も多いのは、「観光の振興」で6.9%、次いで「農業の振興」で4.7%となっている。

「やや満足」が最も多いのは、「観光の振興」で20.7%、次いで「中心市街地の魅力向上」で15.8%となっている。

「普通」が最も多いのは、「基礎的コミュニティの活性化」で59.7%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」で59.2%となっている。

「やや不満」で最も多いのは、「観光の振興」で13.4%、次いで「中心市街地の魅力向上」で11.0%となっている。

「不満」で最も多いのは、「中心市街地の魅力向上」で4.0%、次いで「観光の振興」で3.6%となっている。

「わからない」で最も多いのは、「水産業等の振興」で24.3%、次いで「市民公益活動の促進」で22.4%となっている。

⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

「満足」が最も多いのは、「職員力の向上」が3.9%となっている。

「やや満足」が最も多いのは、「職員力の向上」で14.7%となっている。

「普通」が最も多いのは、「健全な市政運営」と「市民との情報共有の推進と公正の確保」で56.0%となっている。

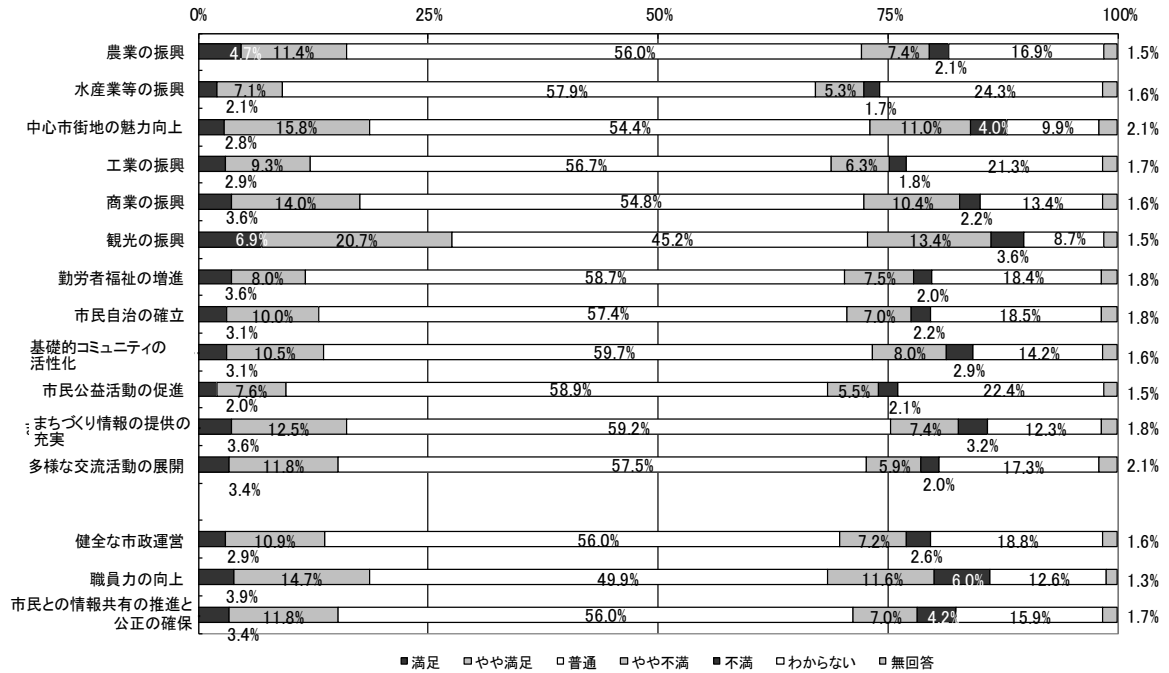
「やや不満」が最も多いのは、「職員力の向上」で11.6%となっている。

「不満」が最も多いのは、「職員力の向上」で6.0%となっている。

「わからない」が最も多いのは、「健全な市政運営」で18.8%となっている。

満足度評価_4

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針
 行財政マネジメントのための基本方針 (N=816)



(3) 基本方針別にみる重要度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「学校教育の充実」で 43.1%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」で 37.9%となっている。

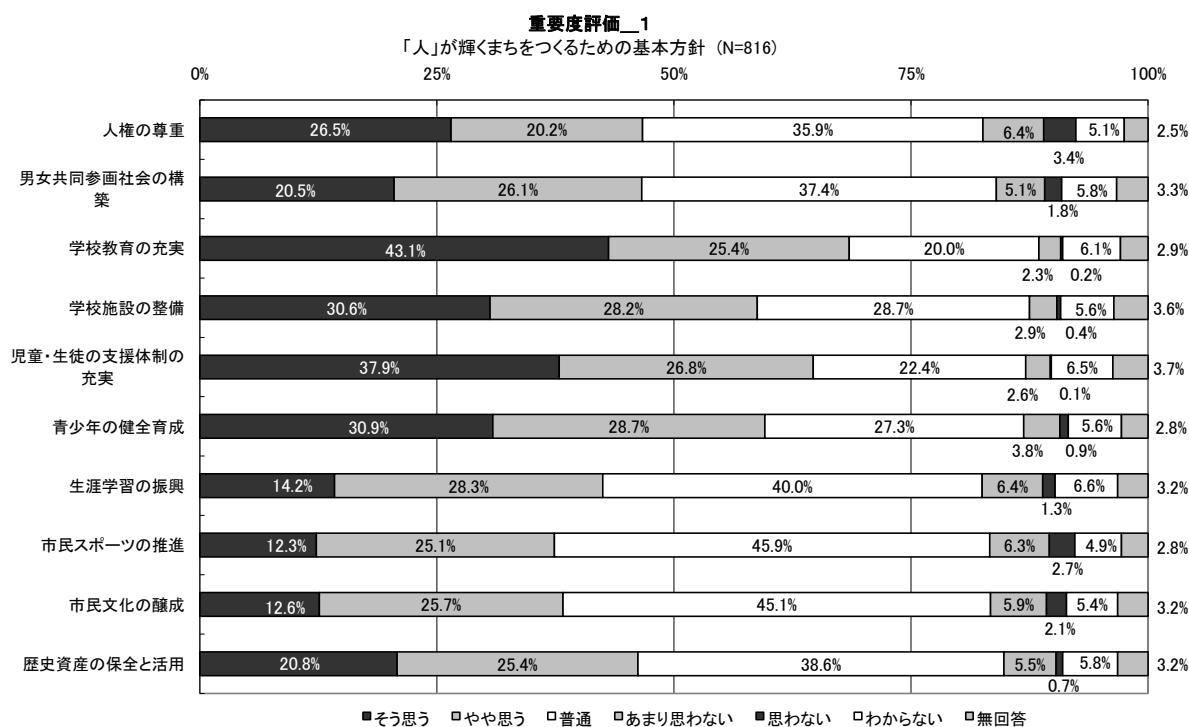
「やや思う」が最も多いのは「青少年の健全育成」で 28.7%、次いで「生涯学習の振興」で 28.3%となっている。

「普通」が最も多いのは「市民スポーツの推進」で 45.9%、次いで「市民文化の醸成」で 45.1%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「人権の尊重」と「生涯学習の振興」で 6.4%となっている。

「思わない」が最も多いのは「人権の尊重」で 3.4%、次いで「市民スポーツの振興」で 2.7%となっている。

「わからない」が最も多いのは「生涯学習の振興」で 6.6%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」で 6.5%となっている。



②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「犯罪のないまちづくり」で44.9%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」で43.8%となっている。

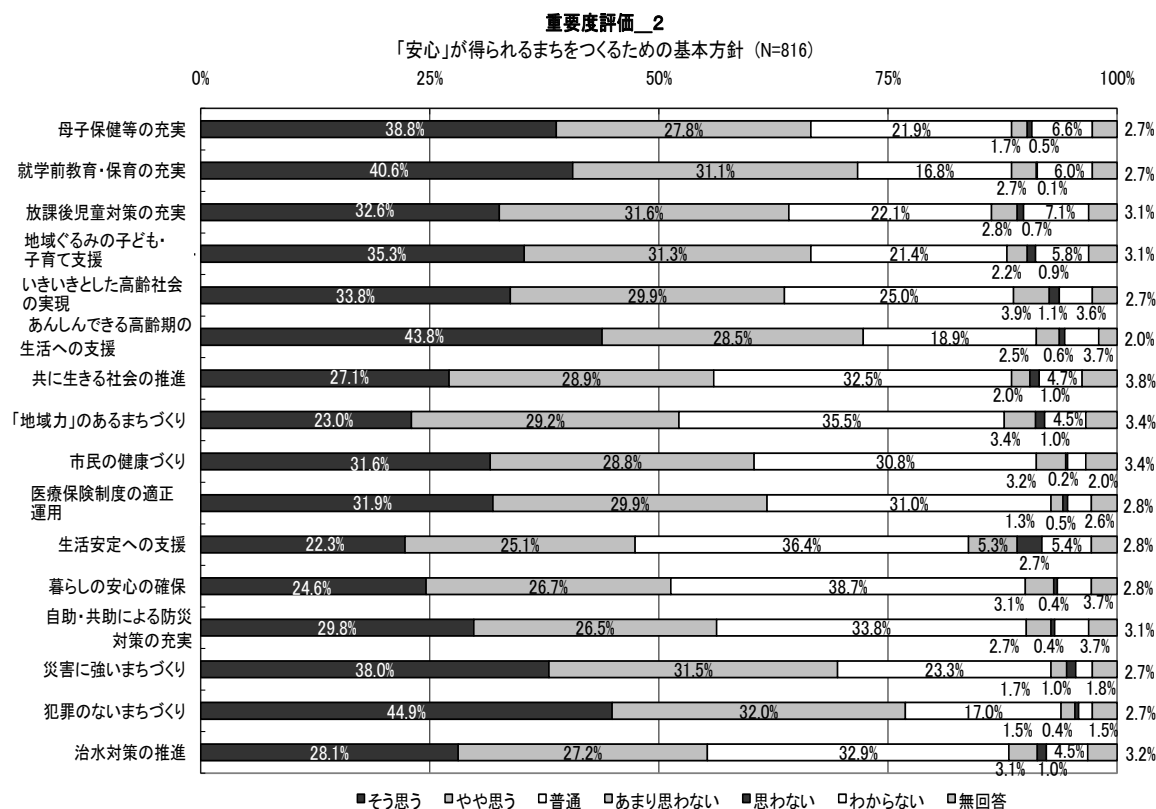
「やや思う」が最も多いのは「犯罪のないまちづくり」で32.0%、次いで「放課後児童対策の充実」で31.6%となっている。

「普通」が最も多いのは「暮らしの安心の確保」で38.7%、次いで「生活安定への支援」で36.4%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「生活安定への支援」で5.3%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」で3.9%となっている。

「思わない」が最も多いのは「生活安定への支援」で2.7%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」で1.1%となっている。

「わからない」が最も多いのは「放課後児童対策の充実」で7.1%、次いで「母子保健等の充実」で6.6%となっている。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「水の安定供給」で34.1%、次いで「快適な道路の整備」が31.9%となっている。

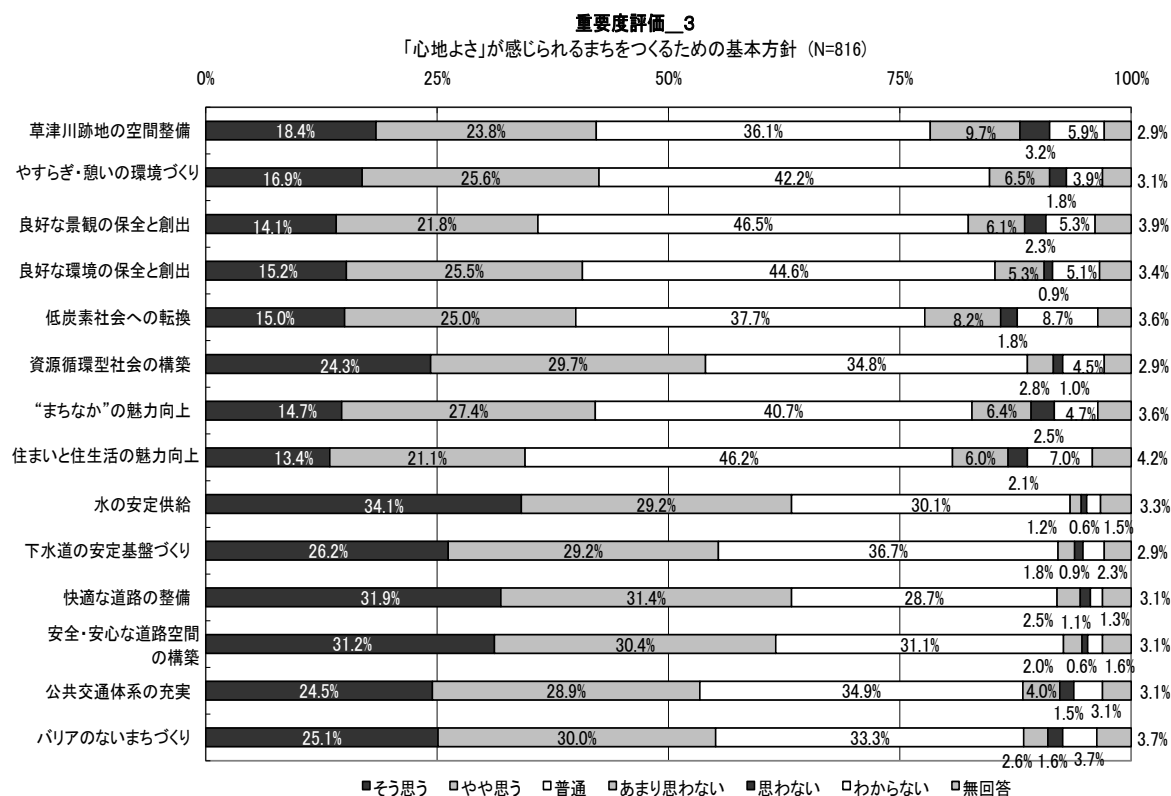
「やや思う」が最も多いのは「快適な道路の整備」で31.4%、次いで「安全・安心な道路空間の構築」で30.4%となっている。

「普通」が最も多いのは「良好な景観の保全と創出」で46.5%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」で46.2%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「草津川跡地の空間整備」で9.7%、次いで「低炭素社会への転換」で8.2%となっている。

「思わない」が最も多いのは「草津川跡地の空間整備」で3.2%、次いで「“まちなか”の魅力向上」で2.5%となっている。

「わからない」が最も多いのは「低炭素社会への転換」で8.7%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」で7.0%となっている。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「思う」が最も多いのは「観光の振興」で24.4%、次いで「農業の振興」で19.1%となっている。

「やや思う」が最も多いのは「観光の振興」で29.3%、次いで「商業の振興」で26.5%となっている。

「普通」が最も多いのは「市民自治の確立」で50.5%、次いで「市民公益活動の促進」で50.4%となっている。

「あまり思わない」が最も多いのは「中心市街地の魅力向上」で8.3%、次いで「多様な交流活動の展開」で8.0%となっている。

「思わない」が最も多いのは「水産業等の振興」で2.8%、次いで「中心市街地の魅力向上」で2.7%となっている。

「わからない」が最も多いのは「市民公益活動の促進」で14.0%、次いで「水産業等の振興」で11.4%となっている。

⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

「思う」が最も多いのは「職員力の向上」で28.7%となっている。

「やや思う」が最も多いのは「職員力の向上」で29.0%となっている。

「普通」が最も多いのは「健全な市政運営」で38.0%となっている。

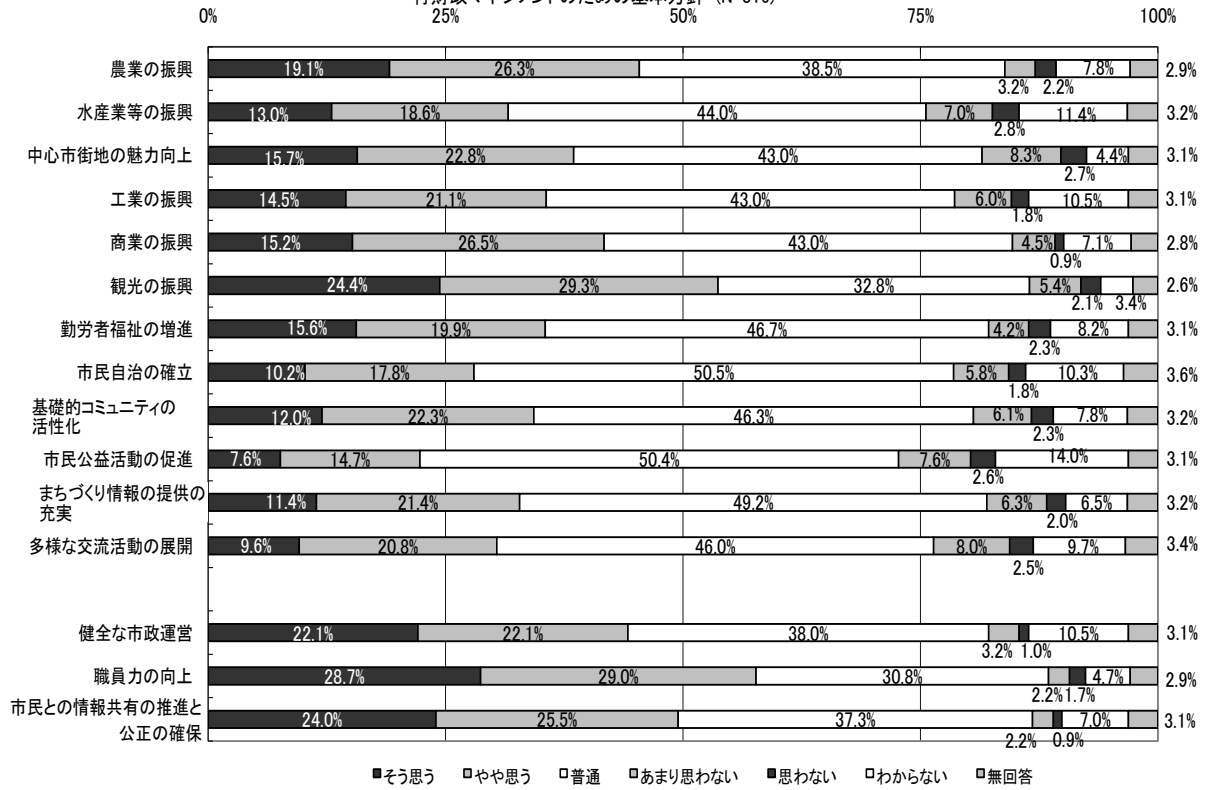
「あまり思わない」はそれぞれ「健全な市政運営」で3.2%となっている。

「思わない」が最も多いのは「職員力の向上」で1.7%となっている。

「わからない」が最も多いのは「健全な市政運営」で10.5%となっている。

重要度評価_4

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針
 行財政マネジメントのための基本方針 (N=816)



(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「人」が輝くまちをつくるための基本方針のうち、「教育・青少年」に関する基本方針は、全ての基本方針の中でも満足度・重要度ともに比較的高くなっている。

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「安心」が得られるまちをつくるための基本方針は、全ての基本方針の中でも満足度・重要度ともに比較的高くなっている。

③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

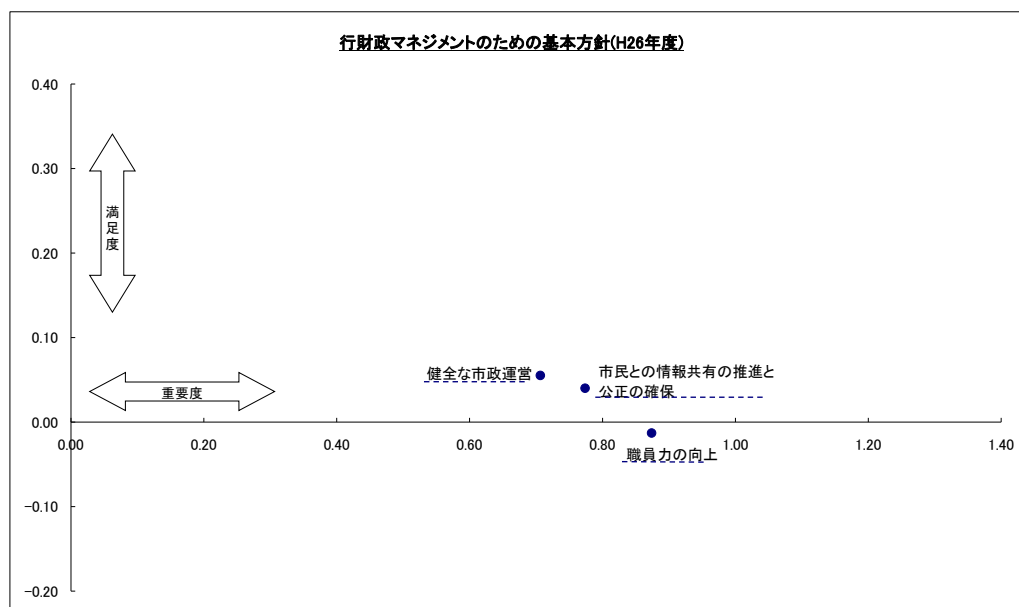
「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針のうち、「上下水道」に関する基本方針は、全ての基本方針の中でも満足度・重要度ともに特に高くなっている。一方、「道路・交通」に関する基本方針は、満足度が低くなっている。

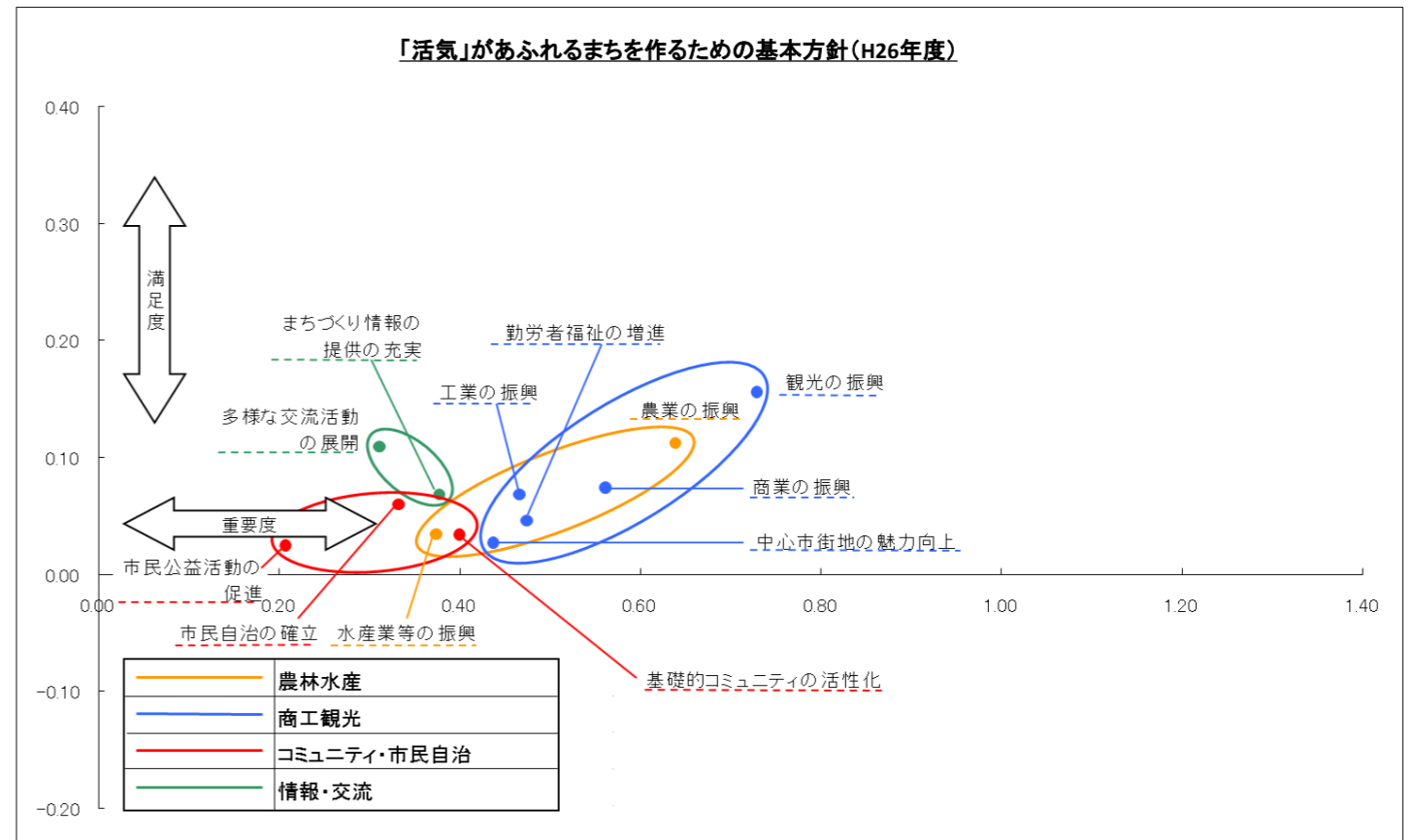
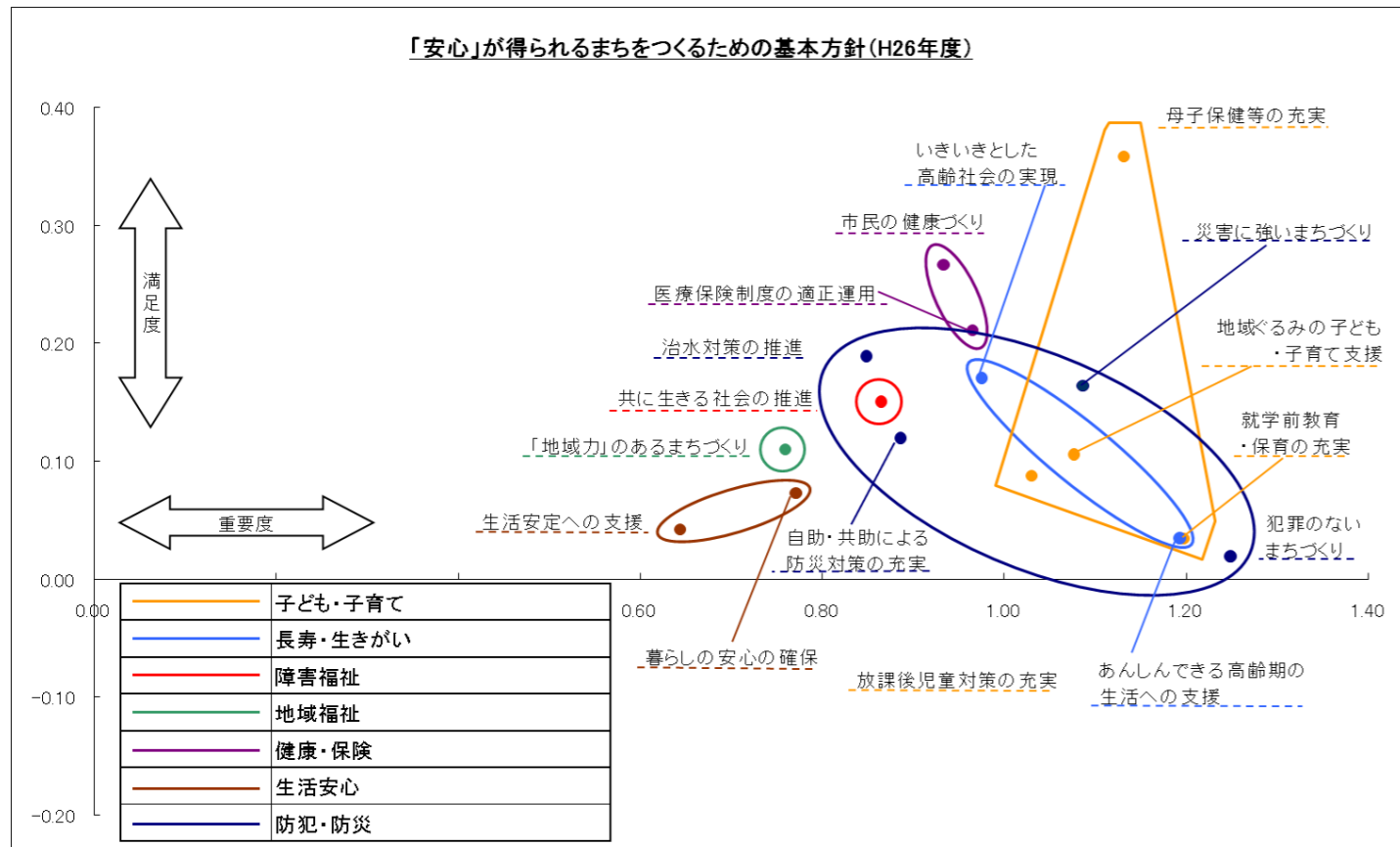
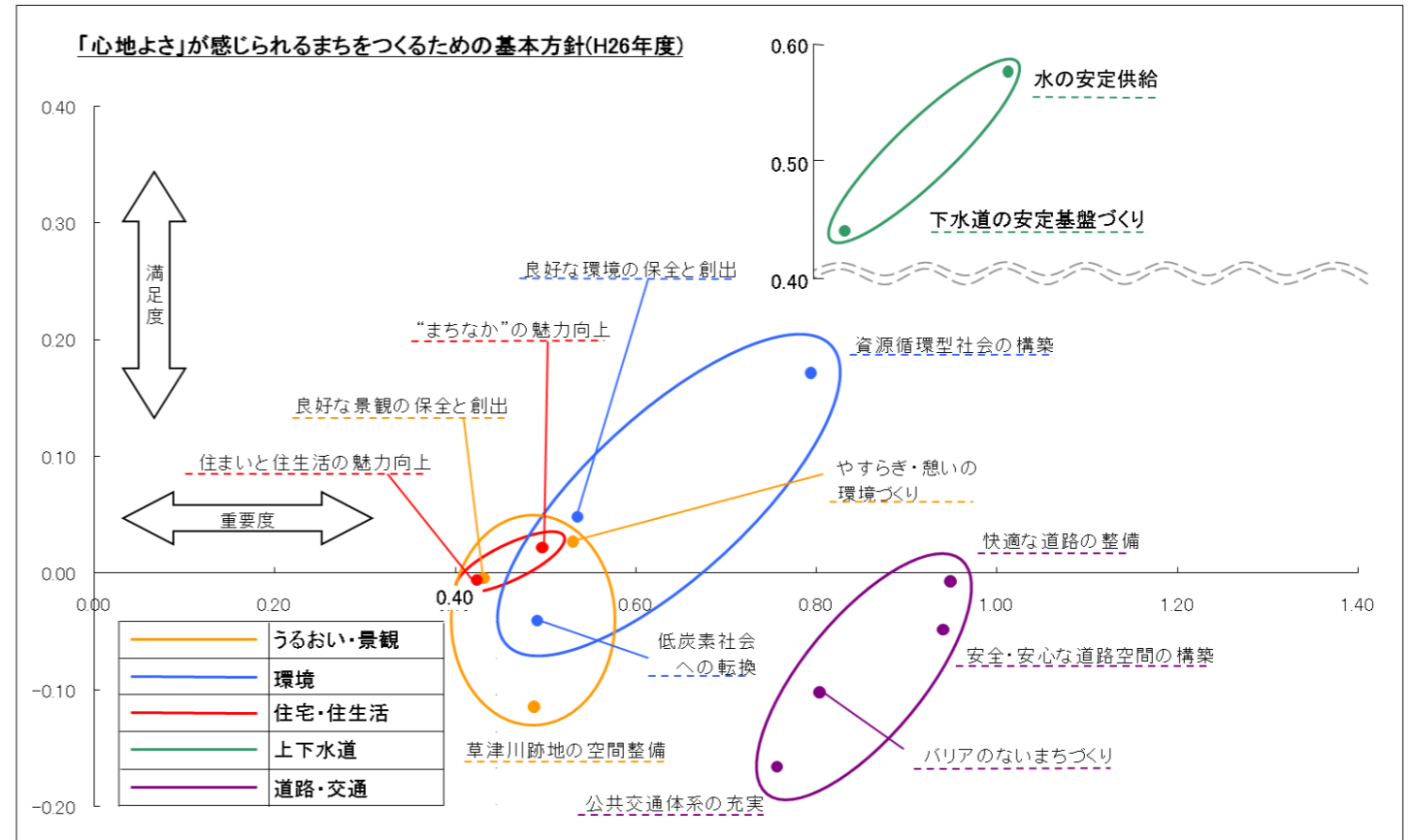
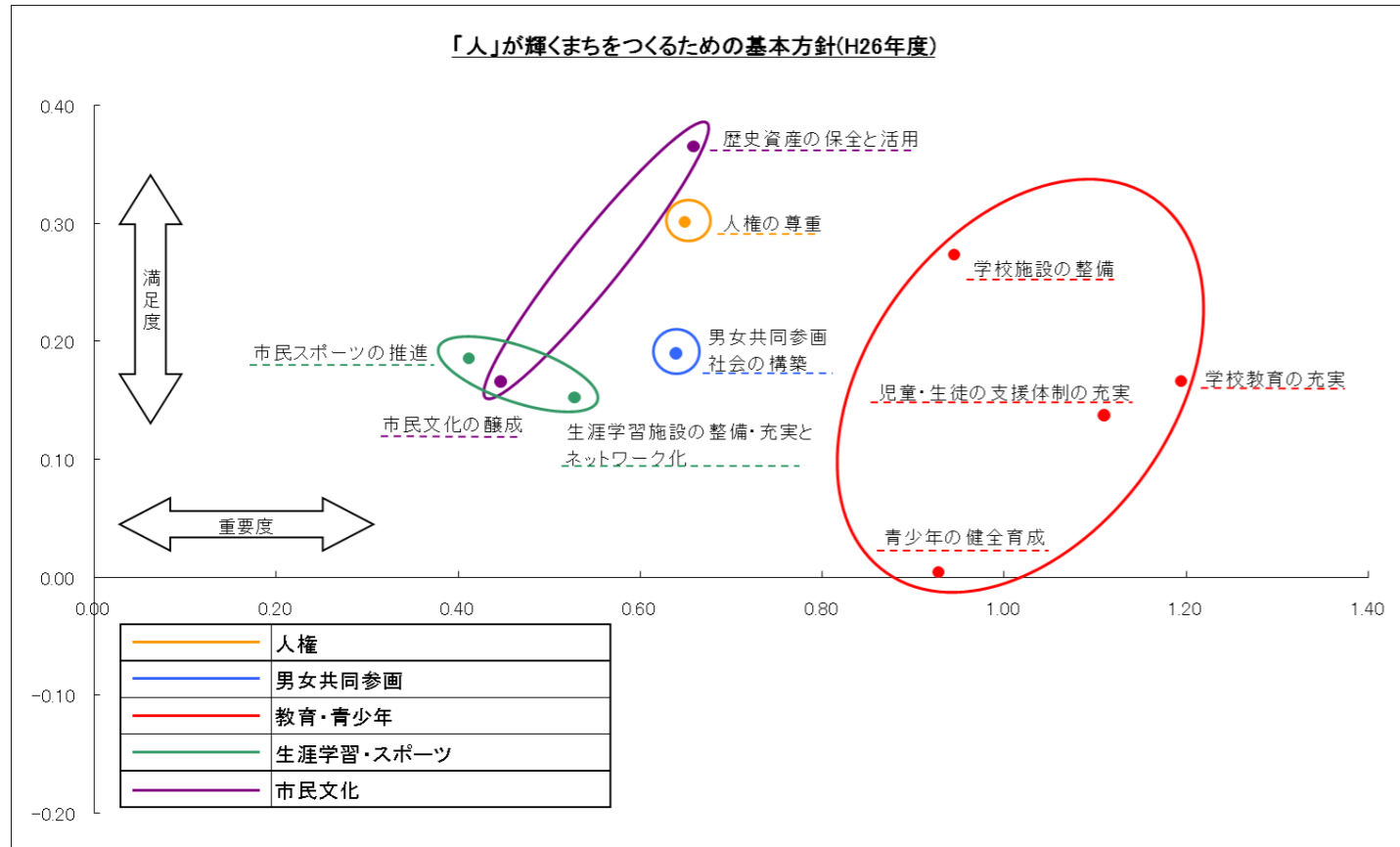
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針は、全ての基本方針の中では、相対的に、一定の満足度はあるが、重要度が比較的低くなっている。

⑤ 「行財政マネジメントのための基本方針」

「行財政マネジメントのための基本方針」のうち、「職員力の向上」の満足度が低くなっている。





(5) まちの住み心地や日常の生活行動

① 住環境評価

「そう思う」が最も多いのは「総合的に住みやすいまちである」で 30.3%、次いで「買物をする環境が整っている」で 24.4%となっている。

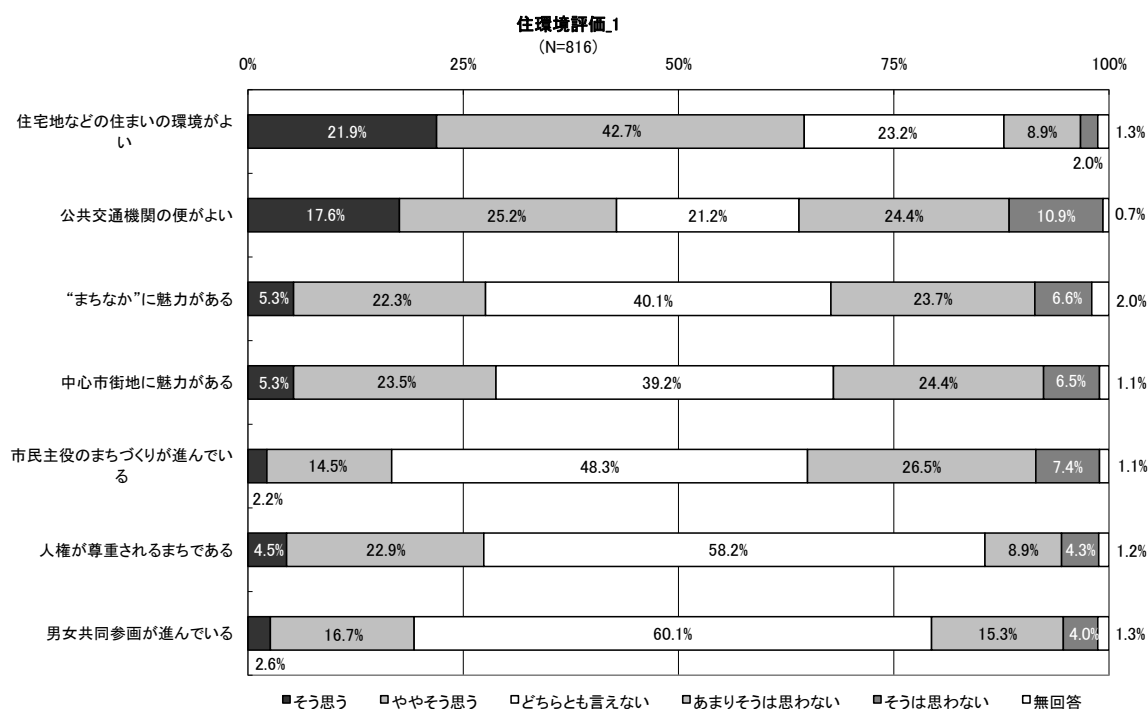
「ややそう思う」が最も多いのは「買物をする環境が整っている」で 47.3%、次いで「総合的に住みやすいまちである」で 45.2%となっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは「男女共同参画が進んでいる」で 60.1%、次いで「人権が尊重されるまちである」で 58.2%となっている。

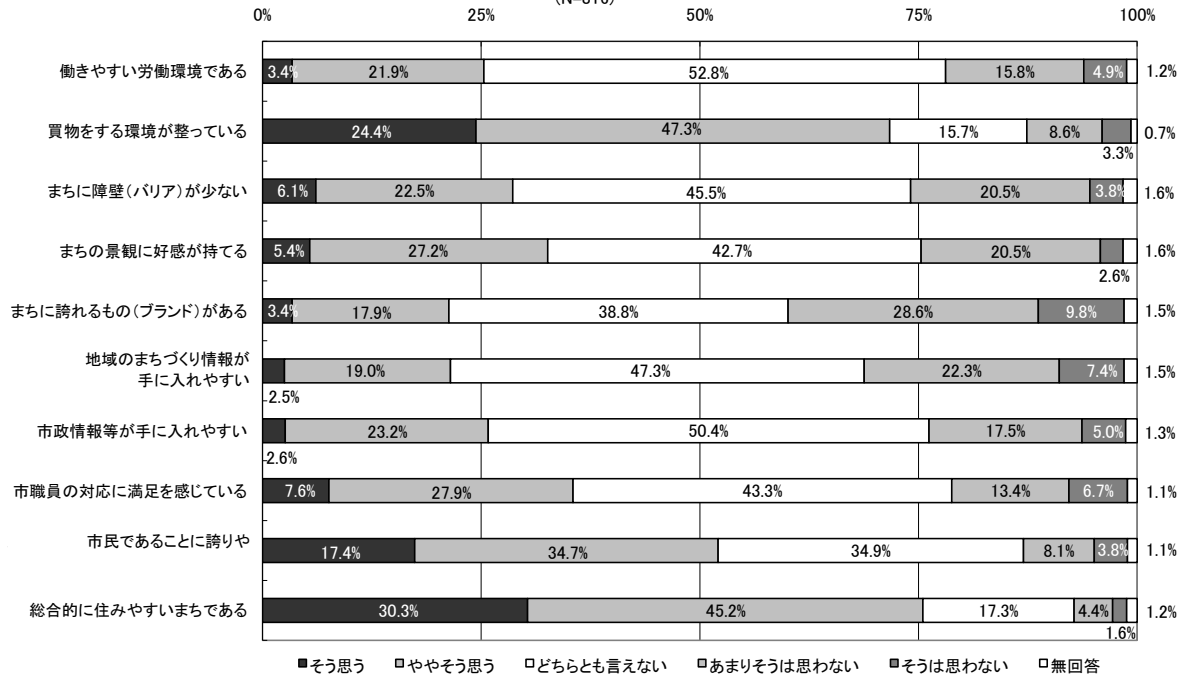
「あまりそう思わない」が最も多いのは「まちに誇れるもの(ブランド)がある」で 28.6%、次いで「市民主役のまちづくりが進んでいる」で 26.5%となっている。

「そう思わない」が最も多いのは「公共交通機関の便がよい」で 10.9%、次いで「まちに誇れるもの(ブランド)がある」で 9.8%となっている。

「総合的に住みやすいまちである」についてみると、「ややそう思う」が 45.2%と最も多く、次いで、「そう思う」が 30.3%、「どちらとも言えない」が 17.3%となっている。



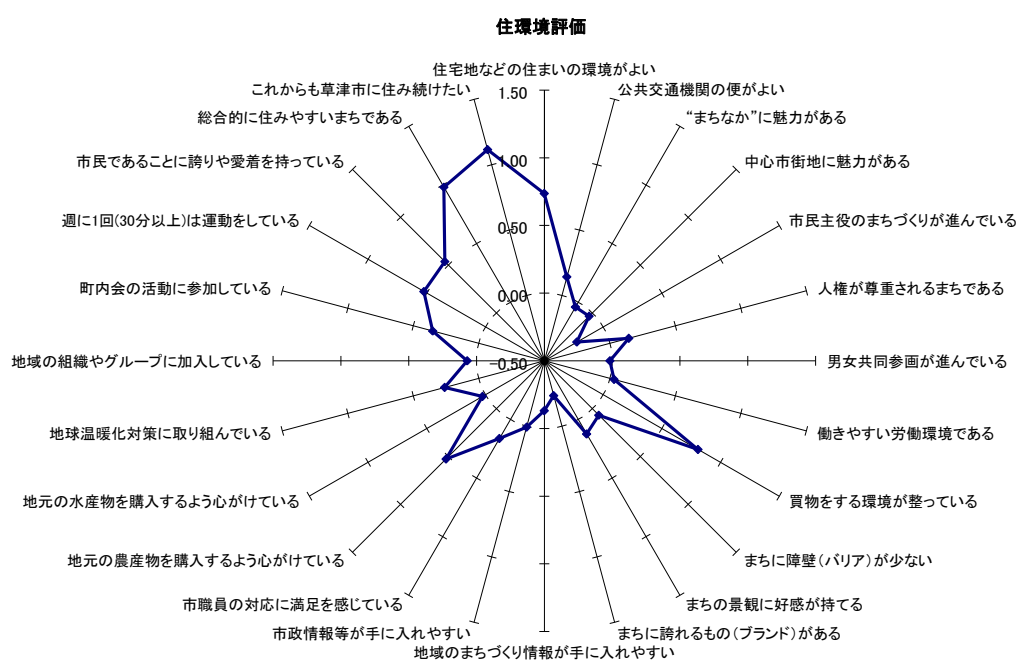
住環境評価2
(N=816)



【加重平均】

「これからも草津市に住み続けたい」「総合的に住みやすいまちである」「買い物をする環境が整っている」において評価が高くなっている。

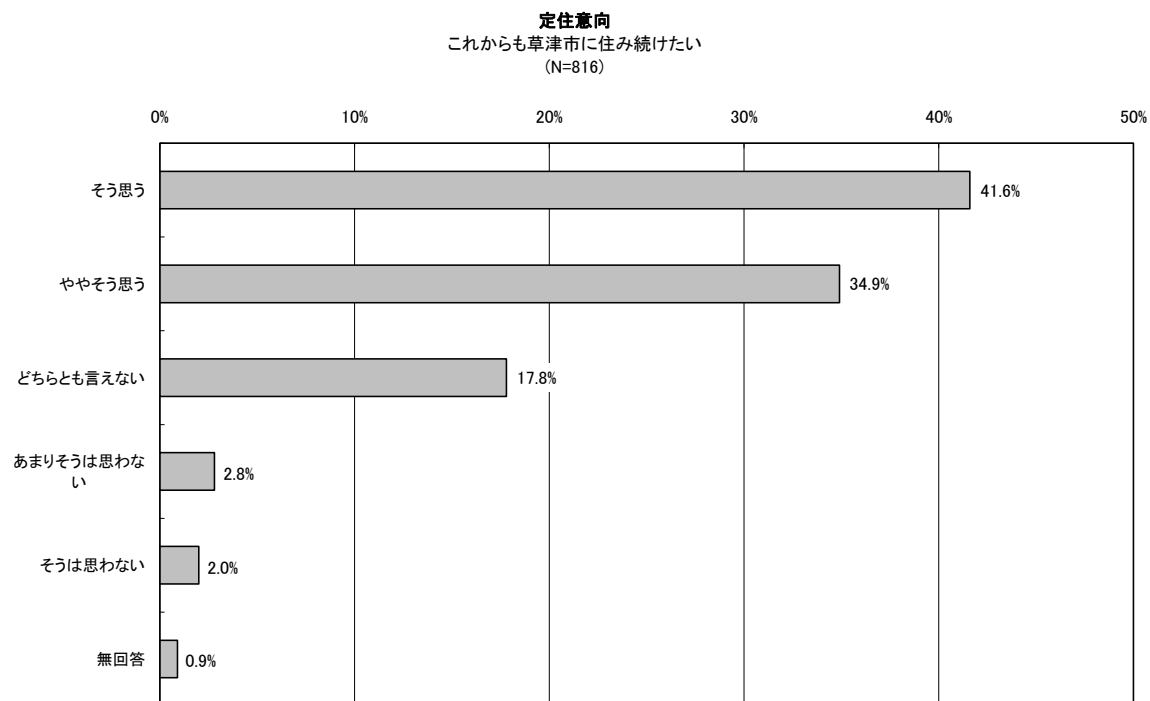
「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「地域のまちづくり情報が手に入れやすい」においては評価が低くなっている。



「そう思う」を2ポイント、「ややそう思う」を1ポイント、「どちらとも言えない」・無回答を0ポイント、「あまりそうは思わない」を-1ポイント、「そうは思わない」を-2ポイントとして全体の平均値を算出

②定住意向

「これからも草津市に住み続けたいか」については、「そう思う」が最も多く 41.6%、次いで「ややそう思う」が 34.9%となっている。



③ 日常の行動

「地元の農作物を購入するよう心掛けている」では、「ややそう思う」が最も多く 35.7%、次いで「どちらとも言えない」が 30.6%となっている。

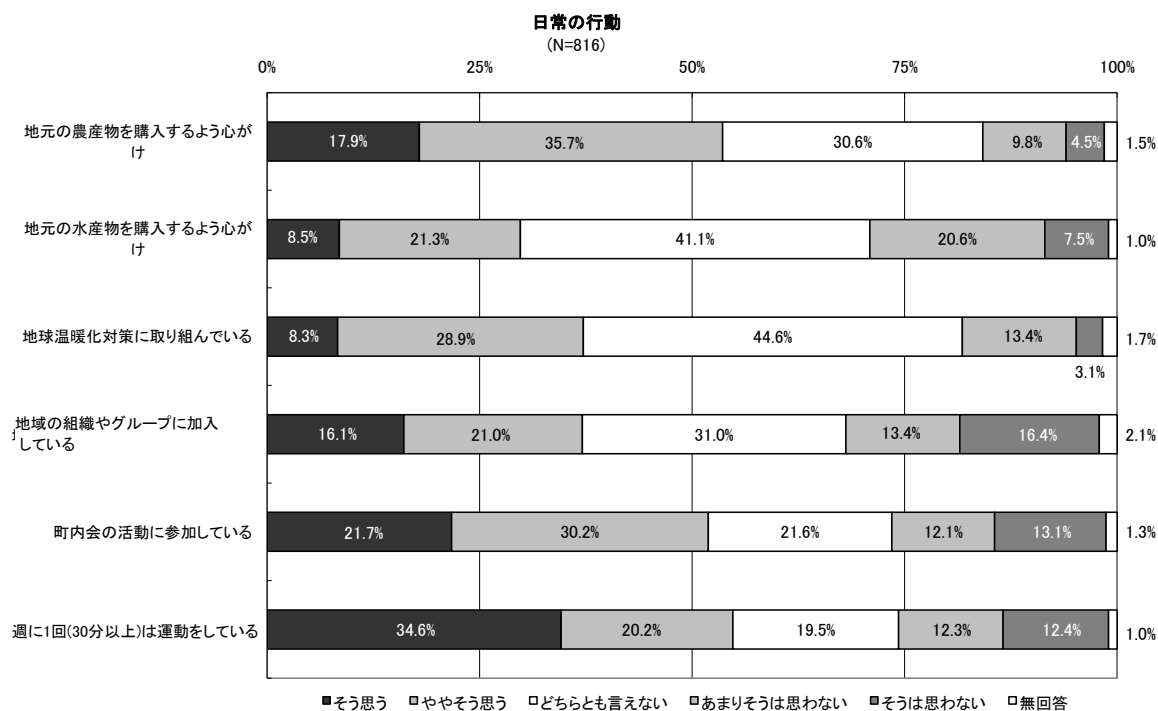
「地元の水産物を購入するよう心掛けている」では、「どちらとも言えない」が最も多く 41.1%、次いで「ややそう思う」が 21.3%となっている。

「地球温暖化対策に取り組んでいる」では、「どちらとも言えない」が最も多く 44.6%、次いで「ややそう思う」が 28.9%となっている。

「地域の組織やグループに加入している」では、「どちらとも言えない」が最も多く、31.0%、次いで「ややそう思う」が 21.0%となっている。

「町内会の活動に参加している」では、「ややそう思う」が最も多く 30.2%、次いで「そう思う」が 21.7%となっている。

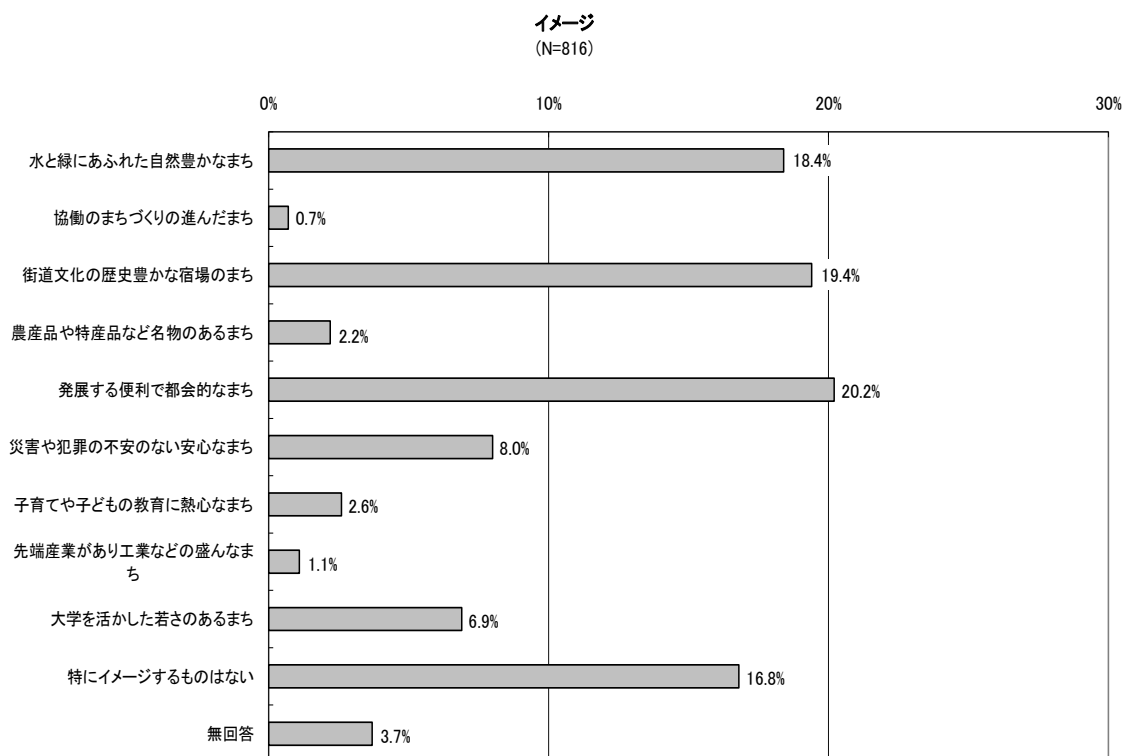
「週に1回(30分以上)は運動をしている」では、「そう思う」が最も多く 34.6%、次いで「ややそう思う」が 20.2%となっている。



(6) 草津市のイメージ

① 都市イメージ

草津市のイメージとして最も多かったのが、「発展する便利で都会的なまち」で20.2%、次いで多かったのが、「街道文化の歴史豊かな宿場のまち」で19.4%、「水と緑にあふれた自然豊かなまち」が18.4%となっている。



② 地域資源

「烏丸半島など琵琶湖畔」が最も多く16.5%、次いで「イナズマロックフェス」が10.5%、「ハスの群生地」と「草津宿本陣」がともに9.5%となっている。

